

開講日	2025年春期 木曜日 18:30-20:00	講義場所	Zoom配信 + 対面講義(医学部研究棟11階 講義室A)
コースディレクター	名古屋市立大学大学院医学研究科 分子腫瘍学分野 教授 田口 歩		

科目概要および期待される成果	<p>【概要】現在、日本人の2人に1人は一生のうちで一度はがんになるとされており、我が国の死因第一位の疾患でもあることから、がんは、すべての人にとって身近な病気です。一方で、急速ながん医療の高度化に加えて、高齢化や、都市部への人口の集中による地域格差などに伴って、がん予防の推進、治療やケアの個別化、新規治療法の開発など医療現場で顕在化した課題に取り組み、がん診療の新たなニーズに対応していく必要があります。学びなおし講座「がんの診療 Up-to-Date」においては、がん診療の基本的知識を復習するとともに、最新のがん診療を主要ながん種ごとに学んでいただきます。</p> <p>【期待される成果】がん診療の基本的な知識について理解を深めるとともに、急速に高度化するがん医療において、分野横断的また学際的領域を含む最新の診療や現在の課題を学ぶことで、質の高い医療やサービスを提供できることを目指します。</p>
目標とする資格	医師、看護師、薬剤師、放射線技師、管理栄養士などががん診療にかかわる様々な医療職の方の振り返りやスキルアップ、がん専門資格の取得に役立ちます。

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
L-1	1	がんゲノム医療の最前線	がんゲノム医療は、がんが発生した臓器ではなく、がんの原因となる遺伝子の変化に基づいて診断・治療を行う医療です。最新のがんゲノム医療について解説します。	4月10日	助教 木下 史緒理 名古屋市立大学病院 臨床腫瘍部
L-2	2	がん薬物療法の最前線	がん薬物療法を主に形成する殺細胞抗がん剤、分子標的療法、免疫チェックポイント阻害剤、ならびにそれらの副作用対策、チーム医療の重要性などについて、実臨床から見た基礎からup-to-dateな内容で講義します。	4月17日	教授(診療担当) 小松 弘和 名古屋市立大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学(臨床腫瘍部)
L-3	3	ここまで進んだ放射線治療	放射線治療は、治療技術の革新的進歩により、治療成績が大幅に改善しています。一方、前立腺癌は、人口の高齢化と検診の普及に伴い急増しています。本講義では、これらの最新技術を用いた前立腺癌の放射線治療に関する詳細について解説します。	4月24日	准教授 富田 夏夫 名古屋市立大学大学院医学研究科 放射線医学
L-4	4	がん患者に対する精神心理的支援	がんを患うことは精神的にも大きな負担をもたらすことがあります。がんを患った際にどのような心の反応が生じるのか、医療従事者としてどのようなケアを行うべきか、などについて、分かりやすく解説します。	5月8日	教授(診療担当) 奥山 徹 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 精神科、緩和ケアセンター
L-5	5	がん診療における緩和ケアの役割	緩和ケアは、病気とともに生きる人とその家族を支える医療です。痛みや不安を和らげ、毎日の生活をできるだけ快適にすることを目的としています。この講座では、「緩和ケアは最期の医療?」といった誤解を解きながら、その大切な役割を多職種連携の視点でわかりやすく紹介します。	5月15日	助教 菊池 志乃 名古屋市立大学病院 緩和ケアセンター
L-6	6	がん治療におけるアピアランス(外見)ケア	アピアランスケアとは、がんやその治療に伴う外見変化に起因する身体・心理・社会的な困難に直面している患者とその家族を対象にし、多職種で支援する医療者のアプローチです。がんにかかわる医療者として、基本的概念を中心に、押さえておくポイントをお話します。	5月22日	師長 足立 珠美 名古屋市立大学病院 看護部
L-7	7	高齢者とがん治療-高齢者機能評価の観点から-	社会に占める高齢者の割合は年々増加しています。本講義では、高齢者を総合的に評価する高齢者機能評価とがん治療についてわかりやすく解説します。	5月29日	准教授 堀田 祐志 名古屋市立大学大学院医学研究科 臨床薬理学
L-8	8	小児AYAがんのUp to Date	もはや小児AYA世代のがんは、多くの患者さんが根治を目指せる疾患となりました。小児AYA世代のがんの特徴と最新の治療、今後の課題についてお話しします。	6月12日	助教 亀井 美智 名古屋市立大学大学院医学研究科 新生児・小児医学分野
L-9	9	消化管癌診療の最前線	近年の内視鏡的治療手技や新規薬剤開発により、消化管癌(食道癌・胃癌・大腸癌)の治療は、目覚ましく進歩しています。消化管癌における最新の内視鏡診断や治療法を動画を使用し解説するとともに、昨今進歩の著しい薬物療法から最新の集学的治療法についても概説します。	6月19日	准教授 志村 貴也 名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学
L-10	10	泌尿器悪性腫瘍の診療最前線	超高齢化社会の中で、泌尿器悪性腫瘍の患者さんは増加の一途をたどっています。近年、様々な新たな診断・治療法が開発されており、その進歩はまさに日進月歩といえます。本講義では、早期前立腺癌において手術や放射線治療を行わない最新の治療法や、膀胱癌において新たに承認された薬物療法の最新の臨床データについて解説を行います。	6月26日	准教授 内木 拓 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 泌尿器科
L-11	11	膵癌・胆道癌診療の最前線	膵癌と胆道癌は早期発見が難しく、手術の難易度と侵襲度が高いうえ再発も非常に多いことから、難治癌の代表格です。この2種類の癌について、医療従事者として知っておくべき基礎知識と最近の進歩について解説します。	7月3日	講師 佐藤 崇文 名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器外科学
L-12	12	肝癌の予防、診断、治療	肝癌、特に肝細胞癌の予防や診断方法、最新の局所治療・全身化学療法について分かりやすく解説します。特に肝癌を予防するには何をすればよいかについて理解を深めます。	7月10日	准教授 藤原 圭 名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学
L-13	13	乳癌治療アップデート	乳癌の治療は、新しい薬が臨床の場に次々と登場し、毎年のように変化しています。今回は、周期の治療に絞って、ここ数年で変化してきた治療、変化していない治療の考え方等について解説します。	7月17日	准教授 鰐淵友美 名古屋市立大学大学院医学研究科 乳腺外科学分野
L-14	14	造血器腫瘍診療の最前線	白血病・悪性リンパ腫・骨髄腫などの造血器腫瘍は、人口高齢化に伴い罹患率と死亡者数の増加を示しています。分子標的療法や免疫療法などの進歩について理解を深めます。	7月24日	准教授 三田 貴臣 名古屋市立大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学
L-15	15	肺癌治療の現況と展望	肺癌治療について、医療従事者として理解しておきたい基礎知識と現状を解説します。また、日々進歩している肺癌治療の今後の展望についても解説いたします。	7月31日	准教授 横田 圭右 名古屋市立大学大学院医学研究科 呼吸器・小児外科学